

ニーズ調査の項目と調査のねらい

1. 市民アンケート（設問数 44）

■回答者の属性

項目案		回答方式	調査のねらい
1	・性別 【1. 男性 2. 女性】	選択	以降の回答結果について、属性別の分析をする上で の基礎データとして使用する。
2	・年齢 【1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上】	選択	
3	・職業 【1. 勤め人（会社員、公務員、会社役員等） 2. 自営業 3. パート・アルバイト 4. 専業主婦・主夫 5. 学生 6. その他（___）】	選択・記述	
4	・お住まいの地域（町名） 【小牧市（___）】	記述	
5	・自動車運転免許の有無 【1. 所有している 2. 所有していたが、返納した 3. 所有していない】	選択	
6	（※運転免許を所有している方、または返納した方（5で「1～2」を選んだ方）のみ） ・何歳くらいで免許を返納したいか（または返納したか） 【1. 60歳頃 2. 65歳頃 3. 70歳頃 4. 75歳頃 5. 80歳頃 6. 85歳頃 7. 90歳頃 8. 運転免許証を返納するつもりがない】	選択	免許返納者が増加することで、公共交通の利用促進 に繋がる可能性があり、免許返納者を増加させる施 策の参考とする。
7	（※運転免許を所有している方、または返納した方（5で「1～2」を選んだ方）のみ） ・免許を返納した際、あったらいいと思う交通施策はなにか、もしくはどんな交通 施策があれば免許を返納しても良いと思えるか 【1. バスの運賃割引（路線バスを含む） 2. バスの増便 3. タクシー割引券の配布 4. デマンド交通の導入 5. その他（___）】	選択（2つ まで）	
8	・徒歩で移動する場合、何分程度までなら移動することができるか。 【1. 5分程度 2. 10分程度 3. 15分程度 4. 20分程度 5. 25分程度 6. 30分以上】	選択	今後、交通施策と福祉施策の住み分けを考えていく にあたり、移動が自由に出来ない人の意見を調査す る。 公共交通利用圏域の妥当性を検証する。
9	・鉄道やバスを不自由なく乗り降りすることができるか。 【1. ひとりで乗降できる 2. 人の介助があれば乗降できる 3. 車イスのままであれば乗降できる 4. 鉄道やバスの利用は難しい】	選択	
10	（※9で「人の介助があれば乗降できる」または「車イスのままであれば乗降でき る」を選んだ方のみ） ・今後、実施してほしい施策は何か。 【1. タクシー割引券の配布 2. 福祉タクシー（車イスのまま乗車可能な、身体障害者の方限定タクシー）の 料金補助 3. 乗降介助のボランティア（バス停やバス車内にて利用者の乗り降りを手助け するボランティア）の導入 4. その他（___）】	選択	

■公共交通の利用と転換意向 (1/2)

項目案		回答方式	調査のねらい
11	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車（送迎も含む）の利用頻度 【1. ほぼ毎日 2. 週に2～4回程度 3. 週1回程度 4. 2週間に1回程度 5. 月1回程度 6. 年に数日程度 7. 利用していない】 	選択	<p>自家用車の利用状況を把握する。</p> <p>他の設問での回答結果について、自家用車の利用状況別の分析をする上での基礎データとして使用する。</p> <p>自家用車利用者に対し、公共交通への利用転換の可能性を確認し、新規利用者の需要推計に使用する。</p>
12	<p>(※自動車利用者 (11で「1～6」を選んだ方) のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な利用目的 【1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 買物 5. 飲食・娯楽 6. 業務 7. その他 ()】 	選択・記述	
13	<p>(※自動車利用者 (11で「1～6」を選んだ方) のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な目的地の施設名または市町村名 【1. 小牧市内の施設名 () 2. 犬山市 3. 春日井市 4. 岩倉市 5. 豊山町 6. 名古屋市 () 区 7. () 県 () 市・町・村】 	記述	
14	<p>(※自動車利用者 (11で「1～6」を選んだ方) のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通が利用可能となる条件 【1. 行き先までの所要時間が () 分以内なら 2. バスが () 分おきにあるなら 3. 始発時間が早ければ (:) 頃 4. 終発時間が遅ければ (:) 頃 5. 鉄道やバスとの乗り継ぎ時間が () 分以内であるなら 6. 遅延が無いなら 7. 自宅などから最寄りの駅やバス停が近いなら 8. 鉄道やバスのダイヤやルートを知っているなら】 	選択 (全て) ・記述	
15	<p>(※自動車利用者 (11で「1～6」を選んだ方) のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善されれば、公共交通を利用するか。 【1. 利用する 2. たぶん利用する 3. 利用しない】 	選択	
16	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道をどのくらい利用するか。 【1. ほぼ毎日 2. 週に2～4回程度 3. 週1回程度 4. 2週間に1回程度 5. 月1回程度 6. 年に数日程度 7. 利用していない】 	選択	
17	<p>(※鉄道利用者 (16で「1～6」を選んだ方) のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な利用目的 【1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 買物 5. 飲食・娯楽 6. 業務 7. その他 ()】 	選択・記述	
18	<p>(※鉄道利用者 (16で「1～6」を選んだ方) のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅から普段利用する鉄道駅はどこか。 【1. 小牧駅 2. 田県神社前駅 3. 味岡駅 4. 小牧原駅 5. 小牧口駅 6. 間内駅 7. 牛山駅 8. 岩倉駅 9. 布袋駅 10. 勝川駅 11. JR 春日井駅 12. 高蔵寺駅 13. その他 () 駅】 	選択・記述	
19	<p>(※鉄道利用者 (16で「1～6」を選んだ方) のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その鉄道駅までの交通手段 【1. ピーチバス 2. 桃花台バス 3. 名鉄バス () 線 4. 近距離高速バス 5. こまき巡回バス () コース 6. とよやまタウンバス 7. 犬山市コミュニティバス 8. 自家用車 (自分で運転) 9. 自家用車 (送迎) 10. タクシー 11. 原付・バイク 12. 自転車 13. 徒歩 14. その他 ()】 	選択・記述	
20	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス（ピーチバス・桃花台バス・名鉄バス等）をどのくらい利用するか。 【1. ほぼ毎日 2. 週に2～4回程度 3. 週1回程度 4. 2週間に1回程度 5. 月1回程度 6. 年に数日程度 7. 利用していない】 	選択	
21	<p>(※路線バス利用者 (20で「1～6」を選んだ方) のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な利用目的 【1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 買物 5. 飲食・娯楽 6. 業務 7. その他 ()】 	選択・記述	
22	<ul style="list-style-type: none"> ・こまき巡回バスをどのくらい利用するか。 【1. ほぼ毎日 2. 週に2～4回程度 3. 週1回程度 4. 2週間に1回程度 5. 月1回程度 6. 年に数日程度 7. 利用していない】 	選択	
23	<p>(※こまき巡回バス利用者 (22で「1～6」を選んだ方) のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な利用目的 【1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 買物 5. 飲食・娯楽 6. 業務 7. その他 ()】 	選択・記述	

■公共交通の利用と転換意向 (2/2)

項目案	回答方式	調査のねらい
24 ・タクシーをどの程度利用するか。 【1. ほぼ毎日 2. 週に2～4回程度 3. 週1回程度 4. 2週間に1回程度 5. 月1回程度 6. 年に数日程度 7. 利用していない】	選択	<p>今後はタクシーも公共交通の1つとして位置づけて考えていく必要があり、現在のタクシー利用状況を把握する。</p> <p>他の設問での回答結果について、タクシーの利用状況別の分析をする上での基礎データとして使用する。</p> <p>個別輸送としての利用か公共交通としての利用か把握し、タクシーの公共交通利用の可能性を検証する。</p>
25 (※タクシー利用者(24で「1～6」を選んだ方)のみ) ・主な利用目的 【1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 買物 5. 飲食・娯楽 6. 業務 7. 飲酒時のみ 8. その他()】	選択・記述	
26 (※タクシー利用者(24で「1～6」を選んだ方)のみ) ・利用の理由 【1. 自家用車の代わりに使えるから 2. 鉄道やバスが近くを走っていないから 3. 鉄道やバスが利用できない時間だから 4. 自家用車を運転できないから 5. その他()】	選択	

■公共交通の認知度

項目案	回答方式	調査のねらい
27 ・小牧市内を運行している公共交通機関について知っていること 【1. こまき巡回バスが走っていること 2. その他バス(ピーチバス、桃花台バス、名鉄バス、とよやまタウンバス、犬山市コミュニティバス等)が走っていること 3. 最寄りのバス停の位置 4. 最寄りのバス停から行くことのできる施設 5. 自宅近くを走るバスのダイヤ 6. 自宅近くを走るバスのルート 7. 自宅近くを走るバスの運賃】	選択(全て)	<p>小牧市内の公共交通機関についての認知度を調査することで、市民に十分な周知が図れているか確認する。</p>

■こまき巡回バスについて

項目案	回答方式	調査のねらい
28 ・小牧市では、平成27年4月及び平成28年4月にこまき巡回バスの路線再編を実施し、全てのコースで1時間に1本程度の運行、各居住地から半径500m以内にバス停を設置するなど利便性の向上を図った。この路線再編に伴い、こまき巡回バスの運行のための小牧市の負担額は、約1億3,000万円(平成26年度)から約3億6,700万円(平成28年度当初)に増額した。今後のバスを運行するための費用負担に対して、どのように考えるか。(近隣市におけるコミュニティバスを運行するための負担額(平成26年度)は、春日井市が約1億4,000万円、犬山市が約5,200万円、一宮市が約6,200万円) 【1. 現在よりも便利にするため、小牧市の負担を増やすべき 2. 現在の運行を維持するため、小牧市の負担は現状程度でよい 3. 多少不便になっても、小牧市の負担は減らすべき 4. 運賃値上げや65歳以上の有料化により、小牧市の負担は減らすべき 5. 利用者からの運賃収入だけで運行可能なサービスにする】	選択	<p>今後の事業のあり方を決める参考とする。</p> <p>(他都市事例は、「愛知県内の市町村における自主運行バス等の運行状況について(平成27年5月調査)」による。)</p>
29 ・現在、小牧市内の各居住地から半径500m以内にバス停(路線バスを含む)が設置されている。バス停の数について、今後、どうしていくべきだと思うか。 【1. 所要時間を短縮するため、経由するバス停の数を減らすべき 2. 現状のままでよい 3. 所要時間が長くなっても、経由するバス停の数を増やすべき】	選択	<p>バス停数について、市民の意見をもとに、今後のサービス水準を決める参考とする。</p>
30 ・こまき巡回バスは、3年サイクルで路線の見直しを行うものとしている。もし、著しく利用者が少ない路線があった場合、どのように対処するべきだと思うか。 【1. 現状どおりバスを運行する 2. 減便をする 3. 路線を廃止してタクシー割引券を配布する 4. デマンド交通を運行する 5. その他()】	選択	<p>今後、交通施策と福祉施策の住み分けを考えていくにあたり、交通空白地区に住む、交通弱者への対応方法を検討するための参考とする。</p> <p>市民が考える公共交通の維持のあり方を分析する。</p>
31 ・マイバス意識の醸成を図るため、コストをかけてでも、こまき巡回バスの愛称をつけることに対してどのように考えるか。 【1. 愛称をつけるべき 2. どちらでもよい 3. 今までどおり愛称をつけなくてよい】	選択	<p>こまき巡回バスの愛称の必要性を検証する。</p>

■公共交通の維持・活性化について

項目案		回答方式	調査のねらい	
32	・小牧市内の交通環境に満足しているか ＜自動車・鉄道・路線バス・こまき巡回バス・自転車・徒歩＞ 【1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満】	選択（手段別）	小牧市内の公共交通の手段別の満足度と不満の内容を把握する。 総合交通計画策定時のアンケート結果と比較することで、総合交通計画策定時以降の状況の変化を把握する。	
33	・自動車の不満の内容 【1. 渋滞のため、目的地まで時間がかかることがある 2. 道路の幅が狭い、カーブが急など道路構造上の問題がある 3. 歩行者・自転車と接触しそうな危険な箇所がある 4. 駐車場の整備が不足 5. 主要な交差点に右折帯がない 6. その他（ ）】	選択（全て）		
34	・鉄道の不満の内容 【1. 駅が遠い 2. 運行本数が少ない 3. 始発が遅い 4. 終発が早い 5. 運賃が高い 6. 混雑していて座れない 7. 駅周辺に魅力が無い 8. 駅に駐車場がない 9. 乗継が不便 10. その他（ ）】	選択（全て）		
35	・路線バスの不満の内容 【1. バス停が遠い 2. 運行本数が少ない 3. 始発時刻が遅い 4. 終発時刻が早い 5. 運賃が高い 6. 混雑していて座れない 7. 必要な方向に路線がない 8. 時刻表どおりに来ない 9. 鉄道との接続が悪い 10. その他（ ）】	選択（全て）		
36	・こまき巡回バスの不満の内容 【1. バス停が遠い 2. 運行本数が少ない 3. 始発時刻が遅い 4. 終発時刻が早い 5. 運賃が高い 6. 混雑していて座れない 7. 必要な方向に路線がない 8. 時刻表どおりに来ない 9. 鉄道との接続が悪い 10. その他（ ）】	選択（全て）		
37	・自転車の不満の内容 【1. 道路の幅が狭い、通行するスペースが無いなど危険な箇所が多い 2. 駐輪場が整備されていないため、利用しにくい 3. 自転車道が整備されていない 4. 段差が多く通行しづらい 5. その他（ ）】	選択（全て）		
38	・徒歩の不満の内容 【1. 歩道が狭く通行しづらい 2. 歩道が無く危険な箇所が多い 3. 歩行者信号が無く危険な箇所が多い 4. 段差が多く歩行しづらい 5. その他（ ）】	選択（全て）		
39	・今後の公共交通に期待する役割 ＜鉄道・路線バス・こまき巡回バス＞ 【1つ目（ ） 2つ目（ ） 3つ目（ ）】 ①名古屋へ行きやすいこと ②近隣市町へ移動しやすいこと ③小牧市内の拠点間を結ぶこと ④小牧市内の公共施設に行けること ⑤小牧市内の商業施設に行けること ⑥小牧市内の医療機関に行けること ⑦小牧市内の鉄道駅に行けること ⑧乗り継げば小牧市内のどこでも行けること ⑨乗り継ぎがないこと ⑩所要時間が短いこと ⑪きめ細かくバス停があること ⑫通勤通学者を対象とすること ⑬子どもや高齢者を対象とすること ⑭車が利用できなくなった時に利用できること	選択（手段別に3つまで）		
40	・乗り継ぎも考慮したうえで、バスで行きたい施設（市外も可） 【施設名：（ ）】	記述（3つまで）		市民のニーズを把握し、新たな需要を発掘する。
41	・今後、公共交通に関する住民懇談会を小牧市内各地区において開催する場合、参加を希望するか。 【1. 参加したい 2. 参加しない】	選択		今後開催予定の住民懇談会の周知及び参加意向の確認をする。
42	（※住民懇談会の参加意向者（41で「1」を選び、案内状の送付を希望した方のみ） ・参加意向者の連絡先 【氏名：（ ） 住所：小牧市（ ）】	記述	住民懇談会の参加意向者のうち案内状の送付を希望する方に対し、今後、小牧市から案内状を送付する。	
43	・現在、小牧駅西駐車場で公共交通利用促進協議会（市民団体）がレンタサイクルを実施している（平日：午前9時から午後9時45分、土・日・祝日：午前7時から午後9時45分、無料）が、どのようなサービスであれば利用したいと思うか。 【1. 現状のサービスで利用したい 2. 早朝・深夜も使えるなら利用したい 3. 複数の貸出所があり、どこでも返却ができるなら利用したい 4. 数日間続けて借りられるなら利用したい 5. レンタサイクルを利用する機会はない 6. その他（ ）】	選択	レンタサイクルの利用者が増加することで、公共交通の利用者増加や自家用車利用が減少する可能性があるため、利用意向を調査するとともに、PRも兼ねる。	
44	・小牧市内の公共交通の利便性を高めるアイデア	自由回答	公共交通に対する意見や要望ではなく、小牧市内の公共交通の利便性を高めるためのアイデアを募る。	

2. バス利用者ヒアリング（設問数 10）

項目案		回答方式	調査のねらい
1	・性別（調査員の達観） 【1. 男性 2. 女性】	選択	以降の回答結果について、属性別の分析をする上での基礎データとして使用する。
2	・年齢（調査員の達観） 【1. 小学生 2. 中学生 3. 高校生 4. 大学生 5. 一般（65歳未満） 6. 高齢者（65歳以上） 7. その他】	選択	
3	・居住地 【1. 小牧南地区（南部） 2. 小牧地区（中部） 3. 市下地区（西部） 4. 味噌地区（北部） 5. 篠岡地区（東部） 6. 北里地区（北里） 7. 市外（__市・町・村）】	選択・記述	
4	・利用路線と利用便（調査員の記録） 【（__）線 （__）便】	選択	バスの利用状況を把握する。 乗降バス停を把握し、バス停間 OD を検証する。
5	・乗降バス停 【乗車：（__）バス停 降車：（__）バス停】	選択	
6	・乗り継ぎ状況・乗り継ぎ手段 【1. 乗り継ぎしない 2. 名鉄小牧線 3. JR 中央本線 4. ピーチバス 5. 桃花台バス 6. 名鉄バス（__）線 7. 近距離高速バス 8. こまき巡回バス（__）コース 9. とよやまタウンバス 10. 犬山市コミュニティバス 11. はあとふるライナー 12. その他（__）】	選択・記述	
7	・利用目的 【1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 買物 5. 飲食・娯楽 6. 業務 7. 帰宅 8. その他（__）】	選択・記述	
8	・利用頻度 【1. 毎日利用 2. 主に平日 3. 主に土日祝 4. 週に2～3日程度利用 5. 週に1日程度利用 6. 月に数日程度利用 7. はじめて利用】	選択	
9	・往復利用状況 【1. 利用する 2. 利用しない】	選択	
10	・利用開始時期 【1. H27.3 以前より利用 2. H27.4～H28.3 より利用 3. H28.4 以降から利用】	選択	

※バス利用者にヒアリングした内容を調査員が記入

3. バス利用者アンケート（設問数 23）

■回答者の属性

項目案	回答方式	調査のねらい
1 ・性別 【1. 男性 2. 女性】	選択	以降の回答結果について、属性別の分析をする上での基礎データとして使用する。
2 ・年齢 【1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上】	選択	
3 ・職業 【1. 勤め人（会社員、公務員、会社役員等） 2. 自営業 3. パート・アルバイト 4. 専業主婦・主夫 5. 学生 6. その他（ ）】	選択・記述	
4 ・お住まいの地域 【1. 小牧市（ ） 2. 犬山市 3. 春日井市 4. 岩倉市 5. 豊山町 6. 名古屋市（ ）区 7. （ ）県（ ）市・町・村】	選択・記述	
5 ・自家用車（送迎も含む）の利用頻度 【1. ほぼ毎日 2. 週に2～4回程度 3. 週1回程度 4. 2週間に1回程度 5. 月1回程度】	選択	自家用車利用（送迎も含む）への依存度を把握する。不満事項の改善による利用頻度の増加の可能性を分析する際の参考データとする。
6 ・徒歩で移動する場合、何分程度までなら移動してもよいと思うか。 【1. 5分程度 2. 10分程度 3. 15分程度 4. 20分程度 5. 25分程度 6. 30分以上】	選択	利用者（バス利用者アンケート）と非利用者（市民アンケート）において、自力で移動することへの考え方にどのような違いが出るかを調査する。公共交通利用圏域の妥当性を検証する。

■バスの利用状況

項目案	回答方式	調査のねらい	
7 ・このアンケートを、どの交通機関で受け取ったか 【1. ピーチバス 2. 桃花台バス 3. 名鉄バス（ ）線 4. こまき巡回バス（ ）コース】	選択・記述	バスの利用状況を把握する。満足度と利用状況のクロス集計により、路線別や利用状況別の満足度や改善事項を分析する。	
8 ・バスに乗車した日時 【9月（ ）日、午前・午後（ ）時頃】	記述		
9 ・乗車したバス停・降車したバス停 【乗車：（ ）バス停 降車：（ ）バス停】	記述		
10 ・最終目的地の施設名または市町村名 【1. 小牧市内の施設名（ ） 2. 犬山市 3. 春日井市 4. 岩倉市 5. 豊山町 6. 名古屋市（ ）区 7. （ ）県（ ）市・町・村】	選択・記述		
11 ・利用目的 【1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 買物 5. 飲食・娯楽 6. 業務 7. 帰宅 8. その他（ ）】	選択・記述		
12 ・アンケートを受け取った交通機関から他の交通機関へ乗り継いだか。または、アンケートを受け取った交通機関へ乗り継いだか。 【1. 乗り継ぎしない 2. 名鉄小牧線 3. JR中央本線 4. ピーチバス 5. 桃花台バス 6. 名鉄バス（ ）線 7. 近距離高速バス 8. こまき巡回バス（ ）コース 9. とよまタウンバス 10. 犬山市コミュニティバス 11. はあとふるライナー 12. その他（ ）】	選択・記述		
13 ・利用頻度 【1. 毎日利用 2. 主に平日 3. 主に土日祝 4. 週に2～3日程度利用 5. 週に1日程度利用 6. 月に数日程度利用 7. はじめて利用】	選択		
14 ・「行き」「帰り」と往復で同じ交通機関を利用したか。 【1. 行きのみ利用 2. 帰りのみ利用 3. 往復で利用した】	選択		
15 (※片道利用者(14で「1～2」を選んだ方)のみ) ・「行き」または「帰り」のみ利用した場合、代替りの交通手段について 【1. 自家用車（送迎） 2. タクシー 3. 名鉄小牧線 4. ピーチバス 5. 桃花台バス 6. 名鉄バス（ ）線 7. 近距離高速バス 8. こまき巡回バス（ ）コース 9. とよまタウンバス 10. 犬山市コミュニティバス 11. 徒歩 12. その他（ ）】	選択・記述		
16 ・バスを利用するようになった理由 【1. バスが運行していることを知ったため 2. 入学・進学したため 3. 就職・転職したため 4. 高齢になったため 5. 車の運転をやめた（運転免許を返納した）ため 6. バス停が近くなったため 7. 利用したい時間帯に運行するようになったため 8. 目的地までの所要時間が短くなったため 9. その他（ ）】	選択（全て）		公共交通を利用している人たちが、どのような理由で利用し始めたかを調査することで、運行内容の見直しなどの参考とする。

■バスの満足度・改善事項

	項目案	回答方式	調査のねらい
17	<p>・バスサービスや乗り継ぎに関する満足度 (項目ごとに評価【1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満】)</p> <p>①バスの運行本数 ②バスの運行経路 ③自宅からバス停までの距離 ④降車バス停から目的地・施設までの距離 ⑤バスが運行している時間 ⑥目的地までの所要時間 ⑦バスが時刻どおりに発着すること ⑧バス停での行き先案内や時刻表の見やすさ ⑨バス停の待合環境 ⑩バス停周辺での施設整備 ⑪バスの乗り降りのしやすさ ⑫バスの乗り心地 ⑬バス車内における案内表示のわかりやすさ ⑭手持ちの路線図や時刻表の見やすさ ⑮バスの料金 ⑯バスの運転手の対応 ⑰乗り継ぎの際の待ち時間 ⑱乗り継ぎの情報や乗り継ぎ案内のわかりやすさ ⑲乗り継ぎをする際の移動距離 ⑳乗り継ぐバス停の待合環境 ㉑乗り継ぎの際の割引制度 ㉒総合的な満足度</p>	選択	<p>バスに関する項目別満足度を把握する。 路線別や利用状況別の分析により、属性別の改善すべき事項を抽出する。 不満事項を抽出し、回答結果を参考に改善策を検討する。</p>
18	<p>(※不満足意向者(17で「4～5」を選んだ項目)のみ) ・17で「やや不満」または「不満」と回答された項目の具体的な改善内容【()】</p>	記述	
19	<p>(※不満足意向者(17で「4～5」を1つ以上選んだ方)のみ) ・不満の項目が改善された場合、利用頻度が増加するか 【1. 今まで以上に利用する 2. 現在と同程度利用する】</p>	選択	<p>不満事項の改善による利用頻度増加の可能性を把握する。 自家用車の依存度やバスの利用頻度を参考に利用頻度の増加に伴う利用者数の増加を分析する。</p>
20	<p>・今後、バスサービスを維持・拡充していく際に重要な項目はどれか。 (17の①～㉒の中から選択) 【1位() 2位() 3位()】</p>	選択(上位3つ)	<p>市民が公共交通に対して求めているものを調査し、今後サービス内容を変更する際の参考とする。</p>

■こまき巡回バスの維持について

	項目案	回答方式	調査のねらい
21	<p>(※こまき巡回バスの利用者のみ) ・小牧市では、平成27年4月及び平成28年4月にこまき巡回バスの路線再編を実施し、全てのコースで1時間に1本程度の運行、各居住地から半径500m以内にバス停を設置するなど利便性の向上を図った。この路線再編に伴い、こまき巡回バスの運行のための小牧市の負担額は、約1億3,000万円(平成26年度)から約3億6,700万円(平成28年度当初)に増額した。今後のバスを運行するための費用負担に対して、どのように考えるか。(近隣市におけるコミュニティバスを運行するための負担額(平成26年度)は、春日井市が約1億4,000万円、犬山市が約5,200万円、一宮市が約6,200万円) 【1. 現在よりも便利にするため、市の負担を増やすべき 2. 現在の運行を維持するため、市の負担は現状程度でよい 3. 多少不便になっても、市の負担は減らすべき 4. 運賃値上げや65歳以上の有料化により、市の負担は減らすべき 5. 利用者からの運賃収入だけで運行可能なサービスにする】</p>	選択	<p>今後の事業のあり方を決める参考とする。 (他都市事例は、「愛知県内の市町村における自主運行バス等の運行状況について(平成27年5月調査)」による。)</p>
22	<p>(※こまき巡回バスの利用者のみ) ・現在、こまき巡回バスの運賃は、200円で1日乗り放題(小学生は100円、65歳以上無料)である。現状のこまき巡回バスを利用する場合、負担できる運賃の限度額はいくらか。 【1. 0円 2. 100円 3. 200円 4. 300円 5. 400円 6. 500円】</p>	選択	<p>現状のサービス水準に対する支払意思額を確認し、こまき巡回バスの運賃体系見直しの参考とする。</p>
23	<p>・小牧市内の公共交通の利便性を高めるアイデア</p>	自由回答	<p>小牧市内の公共交通の利便性を高めるためのアイデアを募る。</p>

4. バス停利用者調査（設問数 13）

項目案		回答方式	調査のねらい	
1	・性別（調査員の達観） 【1. 男性 2. 女性】	選択	以降の回答結果について、属性別の分析をする上での基礎データとして使用する。	
2	・年齢（調査員の達観） 【1. 幼児 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生 5. 大学生 6. 一般（65歳未満） 7. 高齢者（65歳以上） 8. その他】	選択		
3	・居住地 【1. 小牧南地区（南部） 2. 小牧地区（中部） 3. 市下地区（西部） 4. 味噌地区（北部） 5. 篠岡地区（東部） 6. 北里地区（北里） 7. 市外（__市・町・村）】	選択・記述		
4	・利用日時（調査員の記録） 【（__）時（__）分】	記述	中央道桃花台バス停及び近距離高速バス・高速バスの利用状況を把握する。	
5	・乗降状況（調査員の達観） 【1. 乗車利用 2. 降車利用】	選択		
6	・利用バス路線 【1. 近距離高速バス（名古屋方面） 2. 近距離高速バス（可児市方面） 3. 近距離高速バス（多治見方面） 4. 高速バス（名古屋方面） 5. 高速バス（長野・山梨方面） 6. 高速バス（東京方面）】	選択		
7	・利用目的 【1. 通勤 2. 通学 3. 通院 4. 買物 5. 飲食・娯楽 6. 業務 7. 帰宅 8. その他（__）】	選択・記述		
8	・最終目的地 【（__）市・町・村】	記述		
9	・乗り継ぎ状況・乗り継ぎ手段 【1. 乗り継ぎしない 2. 鉄道（__）線 3. バス（__）線 4. その他（__）】	選択・記述		
10	・往復利用状況 【1. 利用する 2. 利用しない】	選択		
11	・利用頻度 【1. 毎日利用 2. 主に平日 3. 主に土日祝 4. 週に2～3日程度利用 5. 週に1日程度利用 6. 月に数日程度利用 7. はじめて利用】	選択		
12	・中央道桃花台バス停への手段または中央道桃花台バス停からの手段 【1. 路線バス 2. こまき巡回バス 3. タクシー 4. 自家用車（自分で運転） 5. 自家用車（送迎） 6. 原付・バイク 7. 自転車 8. 徒歩 9. その他】	選択		中央道桃花台バス停へのアクセス状況及び中央道桃花台バス停からのイグレス状況を把握する。
13	・バス停の項目別満足度 （項目ごとに評価【1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満】） ①自宅等から中央道桃花台バス停までの利便性 ②乗り継ぎの利便性（こまき巡回バスの中央道桃花台バス停または路線バスの桃花台東バス停での乗り継ぎ） ③待合環境 ④ルートやダイヤの情報提供 ⑤中央道桃花台バス停前ロータリー ⑥パークアンドライド駐車場（コインパーキング）	選択		項目別満足度を把握し、改善すべき事項を抽出する平成24年度の中央道桃花台バス停前ロータリーの整備効果を把握する。

※バス停利用者にヒアリングした内容を調査員が記入

5. 企業アンケート（設問数 17）

■企業の基本情報について

項目案	回答方式	調査のねらい
1 ・貴社名 【（ ）】	記述	基礎情報として把握する。
2 ・小牧市内の事業所の住所 【小牧市（ ）】	記述	
3 ・小牧市内の事業所の従業員数 【約（ ）人】	記述	
4 ・駐車場の駐車可能台数 【（ ）台】	記述	
5 ・就業時間 【単一時間帯の場合（朝__時__分から夕__時__分まで 残業時間の最終は__時__分まで） 交代制の場合（__交代制、交代制の時間帯__）】	記述	通勤手段の運行時間帯の参考とする。
6 ・担当者の情報 【所属（ ）、連絡先（ ）、役職（ ）、氏名（ ）】	記述	今後、連絡を取るようになった場合の連絡先として確認する。
7 ・従業員アンケートに協力してもよいか。 【1. 協力してもよい 2. 協力は難しい】	選択	従業員アンケートへの協力意向を確認する。

■従業員の通勤時の交通手段について

項目案	回答方式	調査のねらい
8 ・従業員の通勤時の交通手段別人数 <鉄道・路線バス・こまき巡回バス・送迎バス・自家用車（送迎も含む）・社用車・タクシー・原付バイク・自転車・徒歩・その他> 【約（ ）人】	記述（手段別）	通勤手段別の利用状況を把握する。
9 ・従業員は、主にどの駅で降りて貴社まで通勤しているか。（8で「鉄道」を回答した企業のみ） 【1. 小牧駅 2. 田県神社前駅 3. 味噌駅 4. 小牧原駅 5. 小牧口駅 6. 間内駅 7. 牛山駅 8. 岩倉駅 9. 布袋駅 10. 勝川駅 11. JR春日井駅 12. 高蔵寺駅 13. その他（__駅）】	選択（全て）	
10 ・9の駅から貴社までの主な交通手段（8で「鉄道」を回答した企業のみ） 【1. バス 2. 送迎バス 3. 自家用車（送迎も含む） 4. タクシー 5. 原付・バイク 6. 自転車 7. 徒歩】	選択	
11 ・通勤のために公共交通を利用する際に不便だと思う点 【1. 鉄道・バスの所要時間 2. 鉄道・バスの乗り継ぎ回数 3. 鉄道・バスの運行頻度 4. 鉄道・バスの運行時間帯 5. 自宅から駅までの交通手段 6. 駅から貴社までの交通手段 7. その他（ ）】	選択（全て） ・記述	通勤手段に対する企業の意向や問題意識を把握する。
12 ・貴社にとって望ましいと考えられる通勤手段はなにか。 【1. 公共交通 2. 送迎バス 3. 自家用車（送迎も含む） 4. 社用車 5. 原付・バイク 6. 自転車 7. 徒歩 理由：（ ）】	選択・記述	
13 ・具体的な通勤対策を実行しているか。 【1. 特になし 2. 送迎バス 3. 時差通勤 4. フレックスタイム（自由時間勤務制） 5. 公共交通利用促進（ ） 6. その他（ ）】	選択・記述	通勤対策の現状を把握する。
14 (※13で「送迎バス」を選んだ企業のみ) ・送迎バスの運行内容 【主な運行区間：（__～__）、便数：貴社発（ ）本・貴社着（ ）本、 利用対象：（ ）、利用している従業員数：約（ ）人、 利用条件：（ ）、運賃：（ ）円】	記述	送迎バスの運行状況を把握することで、今後の新たな需要を発掘する。
15 ・通勤手段として公共交通利用を促進することに貴社としてメリットを感じるか。 【1. 大いに感じる 2. どちらともいえない 3. メリットをほとんど感じない 理由：（ ）】	選択・記述	公共交通利用の促進に対する企業の意向や取り組み上での課題を抽出する。
16 (※メリットを感じている企業（15で「1」を選んだ企業）のみ) ・通勤手段として公共交通利用を促進する上で、何か課題はあるか。 【（ ）】	記述	
17 ・貴社として小牧市内の公共交通の利便性を高めるためのアイデア	自由回答	小牧市内の公共交通の利便性を高めるためのアイデアを募る。

6. 従業員アンケート（設問数 11）

■回答者の属性

項目案		回答方式	調査のねらい
1	・会社名 【（ ）】	記述	以降の回答結果について、属性別の分析をする上での基礎データとして使用する。
2	・性別 【1. 男性 2. 女性】	選択	
3	・年齢 【1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上】	選択	
4	・お住まいの地域 【1. 小牧市（ ）町・大字（ ）丁目 2. 名古屋市（ ）区 3. 春日井市（ ）町・大字 4. 岩倉市（ ）町・大字 5. 犬山市（ ）町・大字 6. 江南市 7. 一宮市 8. 北名古屋市 9. 豊山町 10. 大口町 11. 県内（ ）市町村（ ）町、丁目 12. 県外（ ）県（ ）市町村（ ）町、丁目】	選択・記述	
5	・自家用車（送迎も含む）の利用頻度 【1. ほぼ毎日 2. 週に2～4回程度 3. 週1回程度 4. 2週間に1回程度 5. 月1回程度 6. 年に数日程度 7. 利用していない】	選択	自家用車利用への依存度を把握し、公共交通利用への転換の可能性を分析する。

■通勤状況

項目案		回答方式	調査のねらい
6	・就業時間 【ほぼ毎日固定（開始：（ ）時（ ）分 終了：（ ）時（ ）分）、 交代制（週（ ）日 開始：（ ）時（ ）分 終了：（ ）時（ ）分）】	記述	通勤状況の基礎情報として把握する。
7	・通勤所要時間 【約（ ）分】	記述	
8	・通勤手段 【1. 鉄道 2. 路線バス 3. こまき巡回バス 4. 送迎バス 5. タクシー 6. 自家用車（自分で運転） 7. 自家用車（送迎） 8. 原付・バイク 9. 自転車 10. 徒歩 11. その他】	選択（全て）	通勤手段の利用状況を把握する。
9	（※自家用車（送迎も含む）・原付・バイクでの通勤者（8で「6～8」を選んだ方）のみ） ・公共交通で通勤するための条件 【1. 鉄道（ ）線（ ）駅）の始発時刻が早くなれば→始発時刻（ ）時（ ）分 2. 鉄道（ ）線（ ）駅）の終発時刻が遅くなれば→終発時刻（ ）時（ ）分 3. 鉄道（ ）線（ ）駅）の運行本数が増えれば→（ ）分間隔 4. バス（ ）バス停）の始発時刻が早くなれば→始発時刻（ ）時（ ）分 5. バス（ ）バス停）の終発時刻が遅くなれば→終発時刻（ ）時（ ）分 6. バス（ ）バス停）の運行本数が増えれば→（ ）分間隔 7. 駅から会社までのシャトルバスが運行されれば→（ ）駅～会社 8. 車内が混雑していなければ 9. 乗り継ぎが便利になれば 10. 駅やバス停から会社までの交通が便利になれば 11. トイレや待合環境などが改善されれば 12. 駅前に駐車場があれば 13. 時刻表やルート案内、乗り継ぎ案内などの情報があれば 14. 通勤手当の仕組みが変われば 15. 就業時間が変われば 16. その他（ ）】	選択（全て） ・記述	通勤時に公共交通を使わない従業員の公共交通への転換の条件と公共交通への利用転換の可能性を確認し、新規利用者の需要推計の参考とする。
10	（※自家用車（送迎も含む）・原付・バイクでの通勤者（8で「6～8」を選んだ方）のみ） ・改善されれば、通勤に公共交通を利用するか。 【1. 利用する 2. たぶん利用する 3. 利用しない】	選択	
11	・小牧市内の公共交通の利便性を高めるためのアイデア	自由回答	小牧市内の公共交通の利便性を高めるためのアイデアを募る。

7. 学校アンケート（設問数 14）

■学校の基本情報について

項目案	回答方式	調査のねらい
1 ・学生（生徒）数 【約（ ）人】	記述	基礎情報として把握する。
2 ・駐車場の駐車可能台数 【（ ）台】	記述	
3 ・授業時間 【朝____時____分から夕____時____分まで】	記述	通学手段の運行時間帯の参考とする。
4 ・担当者の情報 【所属（ ）、連絡先（ ）、役職（ ）、氏名（ ）】	記述	今後、連絡を取るようになった場合の連絡先として確認する。
5 (※大学のみ) ・学生アンケートに協力してもよいか。 【1. 協力してもよい 2. 協力は難しい】	選択	学生アンケートへの協力意向を確認する。

■学生（生徒）の通学時の交通手段について

項目案	回答方式	調査のねらい
6 ・学生（生徒）の通学時の交通手段別人数 <鉄道・路線バス・こまき巡回バス・送迎バス（スクールバス）・ 自家用車（送迎も含む）・タクシー・原付バイク・自転車・徒歩・その他> 【約（ ）人】	記述（手段別）	通学手段別の利用状況を把握する。
7 ・学生（生徒）は、主にどの駅で降りて貴校まで通学しているか。（6で「鉄道」を回答した学校のみ） 【1. 小牧駅 2. 田県神社前駅 3. 味岡駅 4. 小牧原駅 5. 小牧口駅 6. 間内駅 7. 牛山駅 8. 岩倉駅 9. 布袋駅 10. 勝川駅 11. JR春日井駅 12. 高蔵寺駅 13. その他（ ）駅】	選択（全て） ・記述	
8 ・7の駅から貴校までの主な交通手段（6で「鉄道」を回答した学校のみ） 【1. バス 2. 送迎バス 3. 自家用車（送迎も含む） 4. タクシー 5. 原付・バイク 6. 自転車 7. 徒歩】	選択	通学手段に対する学校の意向や問題意識を把握する。
9 ・通学のために公共交通を利用する際に不便だと思う点 【1. 鉄道・バスの所要時間 2. 鉄道・バスの乗り継ぎ回数 3. 鉄道・バスの運行頻度 4. 鉄道・バスの運行時間帯 5. 自宅から駅までの交通手段 6. 駅から貴校までの交通手段 7. その他（ ）】	選択（全て） ・記述	
10 ・貴校にとって望ましいと考えられる通学手段はなにか。 【1. 公共交通 2. 送迎バス 3. 自家用車（送迎も含む） 4. 原付・バイク 5. 自転車 6. 徒歩 理由：（ ）】	選択・記述	
11 (※送迎バスを運行している学校のみ) ・送迎バスの運行内容 【主な運行区間：（ ）～（ ）、 便数：貴校発（ ）本・貴校着（ ）本、 利用対象：（ ）、利用している学生及び教員数：約（ ）人、 利用条件：（ ）、運賃：（ ）円】	記述	送迎バスの運行状況を把握することで、今後の新たな需要を発掘する。
12 ・通学手段として公共交通利用を促進することに貴校としてメリットを感じるか。 【1. 大いに感じる 2. どちらともいえない 3. メリットをほとんど感じない 理由：（ ）】	選択・記述	公共交通利用の促進に対する学校の意向や取り組み上での課題を抽出する。
13 (※メリットを感じている学校（12で「1」を選んだ学校）のみ) ・通学手段として公共交通利用を促進する上で、何か課題はあるか。 【（ ）】	記述	
14 ・貴校として小牧市内の公共交通の利便性を高めるためのアイデア	自由回答	小牧市内の公共交通の利便性を高めるためのアイデアを募る。

8. 学生アンケート（設問数 10）

■回答者の属性

項目案	回答方式	調査のねらい
1 ・性別 【1. 男性 2. 女性】	選択	以降の回答結果について、属性別の分析をする上での基礎データとして使用する。
2 ・学年 【（ ）年生】	記述	
3 ・お住まいの地域 【1. 小牧市（ ）町・大字（ ）丁目 2. 名古屋市（ ）区 3. 春日井市（ ）町・大字 4. 岩倉市（ ）町・大字 5. 犬山市（ ）町・大字 6. 江南市 7. 一宮市 8. 北名古屋市 9. 豊山町 10. 大口町 11. 県内（ ）市町村（ ）町、丁目） 12. 県外（ ）県（ ）市町村（ ）町、丁目）】	選択・記述	
4 ・自家用車（送迎も含む）の利用頻度 【1. ほぼ毎日 2. 週に2～4回程度 3. 週1回程度 4. 2週間に1回程度 5. 月1回程度 6. 年に数日程度 7. 利用していない】	選択	

■通学状況

項目案	回答方式	調査のねらい
5 ・就学時間 【（開始： ）時（ ）分 終了： ）時（ ）分】	記述	通学状況の基礎情報として把握する。
6 ・通学所要時間 【約（ ）分】	記述	
7 ・通学手段 【1. 鉄道 2. 路線バス 3. こまき巡回バス 4. 送迎バス（スクールバス） 5. タクシー 6. 自家用車（自分で運転） 7. 自家用車（送迎） 8. 原付・バイク 9. 自転車 10. 徒歩 11. その他】	選択（全て）	通学手段の利用状況を把握する。
8 （※自家用車（送迎も含む）・原付・バイクでの通学者（7で「6～8」を選んだ方）のみ） ・公共交通で通学するための条件 【1. 鉄道（ ）線（ ）駅）の始発時刻が早くなれば→始発時刻（ ）時（ ）分 2. 鉄道（ ）線（ ）駅）の終発時刻が遅くなれば→終発時刻（ ）時（ ）分 3. 鉄道（ ）線（ ）駅）の運行本数が増えれば→（ ）分間隔 4. バス（ ）バス停）の始発時刻が早くなれば→始発時刻（ ）時（ ）分 5. バス（ ）バス停）終発時刻が遅くなれば→終発時刻（ ）時（ ）分 6. バス（ ）バス停）運行本数が増えれば→（ ）分間隔 7. 駅から学校までの送迎バスが運行されれば→（ ）駅～会社 8. 車内が混雑していなければ 9. 乗り継ぎが便利になれば 10. 駅やバス停から学校までの交通が便利になれば 11. トイレや待合環境などが改善されれば 12. 駅前に駐車場があれば 13. 時刻表やルート案内、乗り継ぎ案内などの情報があれば 14. その他（ ）】	選択（全て） ・記述	通学時に公共交通を使わない学生の公共交通への転換の条件と公共交通への利用転換の可能性を確認し、新規利用者の需要推計の参考とする。
9 （※自家用車（送迎も含む）・原付・バイクでの通学者（7で「6～8」を選んだ方）のみ） ・改善されれば、通学に公共交通を利用するか。 【1. 利用する 2. たぶん利用する 3. 利用しない】	選択	
10 ・小牧市内の公共交通の利便性を高めるためのアイデア	自由回答	小牧市内の公共交通の利便性を高めるためのアイデアを募る。

※学生アンケートは大学のみで実施

9. 交通事業者ヒアリング（設問数 4）

項目案		回答方式	調査のねらい
1	・運転手が感じる現行ルートでの問題点	記述	運転手が日頃感じている問題点を把握し、改善事項を分析する。
2	・利用者からよく聞かれる意見	記述	交通事業者が把握している利用者の意見を確認し、改善の参考にする。
3	・交通事業者として小牧市内の公共交通の利便性を高めるためのアイデア	記述	交通事業者として実施できる小牧市内の公共交通の利便性を高めるためのアイデアを募る。
4	・公共交通の維持・活性化に向けて行政に期待すること	記述	小牧市内の公共交通の利便性を高めるためのアイデアを実施するにあたり行政に期待することを把握する。

※交通事業者にヒアリングした内容を調査員が記入